

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に係る面談」
2. 日時：令和2年9月4日(金) 13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(一部TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、猪俣上席安全審査官、中川上席安全審査官、上出安全審査官、河本安全審査官、大岡安全審査専門職

日本原燃(株)

大久保 理事 再処理事業部副事業部長 他13名

東京電力(株) サイクル技術グループマネージャー

関西電力(株) 原燃計画グループマネージャー 他1名

四国電力(株) サイクル技術グループリーダー

5. 要旨

- (1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)から、新規制基準に係る再処理施設の今後の設計及び工事の計画の認可申請(以下「設工認申請」という。)に関し、令和2年9月3日の面談(※1)の議論を踏まえて、当日提出資料に基づき、申請書記載事項の整理状況等について説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点を伝えた。
 - ・提示された申請対象リストの例について、事業許可の構成に倣い、分類がなされており、少しずつ、これまでの面談で指摘した類型化のイメージに近づいてきた。
 - ・本日の指摘を踏まえて、申請対象のリスト化を進めること。また、これらの整理によって作成した設備リストを元に、類型化の作業を進めることとなるが、まずは、例示を示すこと。
 - ・規制基準等への適合性を示す上で仕様表作成の範囲の妥当性を整理して説明すること。
- (3) 日本原燃から、本日の面談を踏まえて対応する旨の発言があった。

6. その他

提出資料

「申請対象設備リストについて」

「品質保証体制について」

※1 令和2年9月3日の面談

「日本原燃(株)再処理施設の設工認申請に係る面談」